

アートによる地域活性化

地域名 栃木県足利市
 地域パートナー
 大久保分校スタートアップミュージアム

10班

コミュニティデザイン学科 毛木詩穂子 南部真苗美
 TUAN NURUL ALIA BINTI TUAN ISMAIL
 建築都市デザイン学科 中島大斗 平山月渚 小川航輝
 社会基盤デザイン学科 山中宏斗
 グループ指導教員 藤原紀沙

1. 背景

栃木県の南西部に位置する足利市では、様々な歴史と文化が息づいているが、「アートの街」という側面もある。しかし、その知名度は高くない。また、足利市にある大久保分校スタートアップミュージアム（以下:OBSM）は、2022年にオープンした現代アートの美術館である。近隣住民を中心に認知され始めているが、新規の利用者が少ないことや、若者が少ないという課題がある。昨年度は、地域での認知度向上を目的に近隣商業施設でアクションペイントイベントを実施し、名前の周知はできたものの**活動内容はあまり周知できなかった**。

2. 目的

「足利のアート
 ブランディングを向上」

「OBSMの活動を知ってもらい、
 利用者を増やす」

背景をもとに、まずは地域住民・新規利用者をターゲットに、**足利市がアートで溢れる街である**ことを知ってもらうとともに、OBSMの活動内容を周知し、利用者を増加させることにより、**地域活性化の拠点**の一つとして活動を広げていくことの上記二点を目的とした。

3. イベントの内容と実施方法

「OBSMの強みを活かした、
 足利でアートのつながりを体験するイベントの開催」

「藤の花を咲かせよう！～大型シルクスクリーン体験～」

日時：2024年9月21・22・23日（土・日・月）（13:00～17:00）

場所：大久保分校スタートアップミュージアム

内容：元となる木を描いた大きな布の上に、シルクスクリーンを用いて藤の花を刷り、1つの大きな絵を完成させる。

*参加者にノベルティポストカードのプレゼント

*参加者にはアンケート調査を実施した。

○開催について

- ・参加しやすい環境づくり
- ・足利とアートの結びつけ

- ・参加費無料
- ・OBSMで開催する
- ・土日祝に開催する
- ・アシカガアートクロス期間でのイベント実施

○内容について

- ・足利に纏わるものを題材とする
- ・OBSMの活動の周知
- ・利用者の増加

- ・「藤の花」を活用
- ・シルクスクリーンイベント
- ・リピートしてもらえるような内容

○広報について

- ・チラシ（図5）を作成し、周辺の自治会には回覧板、市内の小学校へは学校のアプリを用いて広報した。
- ・OBSMのインスタやホームページでも情報を発信させていただいた。



図5 チラシ



図1 版画の様子 図2 イベントの様子 図3 原画 図4 たかうじ君との写真

4. 分析結果

イベントの参加者約100名のうち、およそ60名の方にアンケートを回答していただいた。

参加者

20代、独身、子どもがいない世帯、男性、一人での参加が少ない

広報

学校アプリなど子供や家族向けの広報が多い

難易度

誰でも参加できるようなイベントにしようとする難易度が下がるため、結果的に子どもがメインになってしまった

今後参加したいイベント

- ・参加、体験、ワークショップといったキーワードが多く見られた。
- ・開催場所としては、**OBSMで開催してほしい**という声が多かった。
- ・OBSM外だと足利市内の様々な場所が挙げられ、中心地や自然の豊かな場所、歴史を感じられる場所といった意見も見られた。
- ・中心地でという意見の中には、商業施設等とのタイアップやコラボなどを通して商業施設で開催するという意見も見られた。

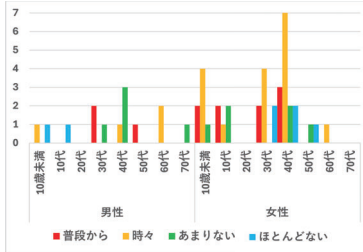


図6 参加者の属性

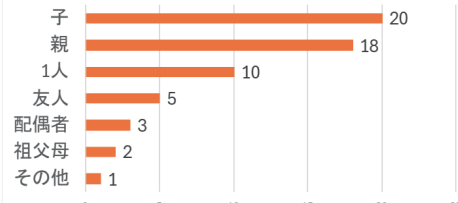


図7 ご来場いただいたお連れ様

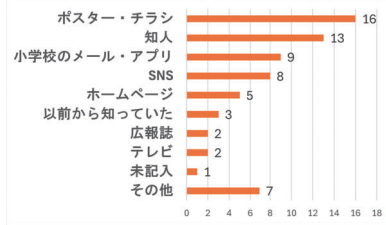


図8 イベントを知ったきっかけ

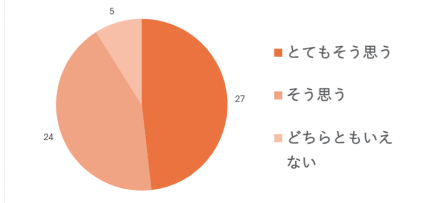


図9 イベントを通して足利にアートのイメージが湧いたか

5. 提案

①ターゲットを絞ったイベントの開催

年齢や興味などでターゲットを絞ったイベントを定期的に行い、幅広い年齢層や属性のリピーターを増やす。

②SNSを活用した広報の提案

若者向けの広報を強化するために、SNSでの投稿に「おでかけ」や「地域名」などのワードを入れ、**検索して表示されやすいようにする**。

③イベント内容に関する提案

- 企画**・みんなで一つの作品を作る企画
 ・大人の参加者が子供の参加者の先生になる企画
 ・訪れるきっかけとなるような、参加費無料のイベント
- 場所**・OBSMを知らない人向けに、他の施設と共同でイベントを開催する
 ・年齢層に合わせた開催場所
 例) 子ども向けのイベント：公民館や図書館など、学区内の施設
- 期間**・ターゲットに合わせた期間や時間の調整
 例) 子ども：長期休みなどや休日
 大人：平日の夜や土日など、仕事がない時間帯や曜日